

阪大に感謝！ One for All, All for One

三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス株式会社

代表取締役社長 前川 篤

この会報が皆さんのお手元に届く時期には、「ラグビーワールドカップ2019日本大会™」が日本の各所で展開されていることと思います。今回は阪大への感謝の気持ちを込めて、ひとりの技術者として後輩諸君にラグビーの話題を提供します。

1. ラグビーとの関わり

私は1976年 機械卒の前川です。本年5月25日に学会館にて「Digitalizationを活用した先端技術」のテーマで講演した際のご縁で、この会報寄稿の機会を頂きました。阪大時代は田中周治先生のもと「Jet Engineフロントファンへのインレット・ディストーションの影響」の研究をやっていました。昼は計算機センターに通い、夜はサージングの実験を繰り返し、これが「私のそれ以降の人生の原点」であるように思います。このガスタービン（産業用 Jet Engine）に魅せられ、三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）に入社し、それ以来、有難いことに約35年間に渡って、ガスタービンの製造、開発及び事業運営に携わってきました。まさに「ガスタービン」が私のライフワークとなりました。

その私が2011年、ガスタービンと携わってきた高砂製作所（兵庫県）を離れ、フォークリフト、エンジン、ターボチャージャー、戦車を製造する相模原製作所（神奈川県）に移り、汎用機・特車事業本部長職に就きました。この相模原製作所が所技（所の競技）としてラグビーチーム「三菱重工相模原ダイナボアーズ（以下、三菱重工ダイナボアーズ）」を持っていることから、私がチームの顧問に就任することとなり、初めてラグビーとの関わりが始まりました。

2. 三菱重工ダイナボアーズ トップリーグ昇格

ダイナボアーズ(DynaBoars)™という名称は「猪(Boars)のように前へ前へ」という想いで名付けられたチーム名です。

2011年当時、三菱重工ダイナボアーズはラグビー協会関東2部リーグの上位にあり、トーナメント全8試合にほぼ勝利。毎年、トップリーグへの入替戦の切符はつかむものの、残念ながら敗退してきました。私も社員と一緒にスタジアムに足を運んで応援してきましたが、2016年の豊田自動織機シャトルズとの入替戦では21-33で敗退、

2017年のコカ・コーラレッドスパークス戦では27-27の同点であり、惜しいところまでいくが、あと一歩のところまで昇格を逃してきました。それだけに、2018年12月、パロマ瑞穂ラグビー場（名古屋）にて行われたジャパントップリーグ入替戦にて、豊田自動織機シャトルズに31-7で勝利し、12季ぶりに念願のトップリーグ昇格を果たすことができた際は、選手諸君と観客が一つになり歓喜に包まれました。



写真1 トップリーグ昇格（2018年12月23日）



写真2 ダイナボアーズ応援団

皆さんの中には、ラグビーに格闘技のようなイメージをお持ちの方もおられると思いますが、実際は強いリーダーシップ、高い選手のモチベーションのもと、科学的アプローチ、高度の作戦で運営されているスポーツです。

(1) 科学的アプローチ、作戦

選手諸君の肩にセンサーを取り付け、GPSで走行距離、走行ルート进行分析、また、ビデオ映像分析でスクラム力、スローイング力などを冷静に評価しています。作戦では「試合前の対戦相手の分析」「自らの強さ、弱さ評価(自己分析)」「試合後の勝因、敗因分析」などを実施して改善のサイクルを回し続けます。これにより、まさに「One for

All, All for One」における選手とコーチ陣の一体感が醸し出されるのです。また、チームには数名の外国人選手がいるため、英語でのコミュニケーションも実施し、まさにグローバル・ビジネスの作戦と同じです。

(2) リーダーシップ (指揮命令系統)

三菱重工ダイナボアーズは、2017年までは日本人監督と外国人のヘッドコーチという2人体制で運営をしてきましたが、どうしても二重の指揮命令系統になるため、昨年からは外国人ヘッドコーチ一本のラインとしました。これにより「ラインの一本化」「外国人選手に対しての厳しい指導」ができるようになり、トップリーグ昇格の一つの要因となりました。これもグローバル・ビジネスの中での一つの示唆を教えてくれたように思います。

3. 全三菱ラグビーフットボール倶楽部(AMRFC)

(AMRFC: All Mitsubishi Rugby Football Club)

(1) 会長就任のきっかけ

前述の通り、三菱重工ダイナボアーズの顧問をしているご縁から、2016年にAMRFCの会長に就任しました。AMRFCは1928年に三菱合資(現:三菱商事)を中心に三菱系各社の有志により結成されました。当時、三菱グループの会社のうち、単独でラグビーチームを有するのは、明治生命(現:明治安田生命)、東京海上(現:東京海上日動)、日本郵船の3社であり、三菱本社、分系会社の従業員による親睦団体「三菱倶楽部」の戸外運動部に所属し、関東ラグビーフットボール協会におけるクラブチ

ーム第1号として登録されているものです。現在は三菱グループのうち16社が22チームを持ち、積極的に活動しています。

なお、三井系では1930年に三井物産ラグビーチームを中心に全三井ラグビークラブが結成され、三井・三菱対抗戦が戦前から行われています。戦後に両クラブの活動が再開され、1955年に復活第1回の定期戦が行われ、2018年に第62回の全三井・三菱定期戦を実施しています。

(2) 英国遠征 (90周年記念)

2018年3月、AMRFC発足90周年の記念行事として、ラグビーの発祥地である英国に100名を10日間派遣しました。(現役選手50人の2チーム、25名のOBチーム、スタッフ25名の総勢100名)

期間中はラグビー市での地元高校生との交流会に加え、5試合の親善試合を行いました。対戦相手はOxford大学OBチーム、Oxbridgeチーム(Oxford大学及びCambridge大学の選抜チーム)、Gloucesterチーム(Englandのトップクラブチーム)、Commons & Lordsチーム(英国議員で構



写真3 1929年の関東全三菱ラグビー倶楽部



写真4 2018年 第62回全三井・全三菱定期戦



写真5 地元高校生との交流会



写真6 Oxbridgeとの交流試合

成されるクラブチーム)など。Oxbridgeチームは従来から不定期に編成され試合を行っていたチームですが、今回両大学の学生諸君がチームを編成してくれたのは実に9年ぶり。三菱チームは24-26で惜敗しました。また現役の英国国会議員もMP (Member of Parliament) チームを編成してくれ対戦しましたが、三菱OBチームは24-35で敗戦しました。

試合後はノーサイド (No Side=試合終了とともに敵味方の区別がなくなり同じ仲間だとするラグビーの精神) であり、議員の先生方のご厚意でウェストミンスター宮殿内を案内していただくとともに、宮殿でパーティーを開催していただき、日英の友好を深めました。

今回の訪問で改めて、ラグビーは英国では社会的プレゼンスが非常に高く、文武両道のスポーツであることを強く実感しました。



写真7 ウェストミンスター宮殿でのパーティー

(3) ラグビーワールドカップ2019日本大会™

この英国遠征のご縁がきっかけとなり、Oxford大学の学生諸君 (30名) が本年9月13日に来日し、三菱重工の工場見学、翌日には三菱チームとの親善試合を予定しています。また、彼らとの友好を深めるため、2日間の三菱グループ社員の家庭でのホームステイを計画しています。

更に、英国議員チームも来日し、本年9月27日には三菱グループのゲストハウス開東閣にてwelcome partyを予定しています。彼らはその後 日本でのラグビーワールドカップの試合観戦を大いに楽しむことでしょう。このようにしてラグビーを通じて国際親善も推進しています。

4. 振り返り

阪大 機械 (空気力学) の分野で大学院時代に鍛えられ、ガスタービンに興味を抱き、三菱重工に就職しました。有難いことに長年、ガスタービン事業に従事でき、阪大に感謝しています。また、現在も三菱重工の中規模の量産品事業の責任者として、またラグビーに関わり、「フェアプレイ精神」「フォア・ザ・チーム」にふれることができ、幸せであったと思います。しかし、「禍福終始を知って惑わずの心境」にはまだまだだれぬこの頃です。

(機械 昭和49年卒 産業機械 昭和51年修士)

【参考】

全三菱ラグビーフットボール倶楽部所属会社：

三菱重工、明治安田生命保険、三菱UFJ銀行、東京海上日動火災保険、三菱商事、三菱地所、三菱製鋼、三菱マテリアル、ニコン、三菱化学、日本郵船、麒麟ビール、三菱電機、三菱プレジジョン、三菱化工機、三菱自動車

【参考】 経歴書 (前川 篤)

1976年 4月 三菱重工業株式会社入社
 2006年 4月 高砂製作所 所長
 2008年12月 執行役員
 原動機副事業本部長
 2011年 4月 常務
 汎用機・特車事業本部長
 2013年 4月 取締役副社長
 汎用機・特車事業本部長
 2013年10月 取締役副社長
 エネルギー・環境ドメイン長
 2016年 3月 三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス株式会社
 代表取締役社長 (現在)

なお、2014年よりTRAFAM理事長に就任中。

TRAFAM：Technology Research Association for Future Additive Manufacturing (3Dプリンター国家プロジェクト)